

関連学術集会のご案内

1. スポーツ栄養学研究会

会場：武庫川女子大学中央キャンパス G会場 (S-21)
6月11日(土) 18:00～20:00

代表者：岡村 浩嗣

連絡先：〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 大阪体育大学運動栄養学

TEL：072-453-8839 / E-mail：okamura@ouhs.ac.jp

演 者：中井 直也（滋賀県立大学）、村上 太郎（至学館大学）

mTORC1を介した骨格筋タンパク質代謝の調節。骨格筋量を保持することはスポーツパフォーマンスの向上のみならず、生活習慣病の予防においても重要である。骨格筋をはじめ細胞におけるタンパク質合成はmTORC1 (mammalian target of rapamycin complex 1) によって調節されている。本研究会では、骨格筋に対するメカニカルストレスや栄養素がmTORC1を介したタンパク質合成に及ぼす影響について、実験動物および培養細胞から得たデータを中心に紹介する。

2. 栄養学若手研究者の集い

会場：武庫川女子大学中央キャンパス H会場 (S-22)
6月11日(土) 18:00～19:30
(総会 30分および講演 1時間)

代表者：井上 博文（東京農業大学応用生物科学部・准教授）

連絡先：E-mail：h5inoue@nodai.ac.jp

演 者：小林 謙一（ノートルダム清心女子大学人間生活学部・教授）

「腎」を守る機能性食品成分の創出を目指して

近年、慢性腎臓病患者数の増加が大きな問題となっています。しかし、その発症メカニズムについては不明な点も多いのが現状です。そこで、慢性腎臓病とアミノ酸代謝に焦点を当て、最近の研究成果をご紹介しますとともに、食品成分によって慢性腎臓病の予防・改善が可能なのかについて考えてみたいと思います。

3. コラーゲンペプチド研究会

会場：武庫川女子大学中央キャンパス I会場 (S-23)
6月11日(土) 18:00～20:00

代表者：佐藤 健司（京都大学大学院農学研究科）

連絡先：〒606 8502 京都市左京区北白川追分町

TEL：075 753 6444 / E-mail：sato.kenji.7x@kyoto-u.ac.jp

コラーゲンペプチドの機能、代謝・吸収と作用メカニズムの研究成果を報告する。その後それぞれの話題について、今後の研究の方向性を議論する。

4. 発酵食品研究集会

会場：武庫川女子大学中央キャンパス K会場 (S-35)
6月11日(土) 18:00～20:00

代表者：広島大学名誉教授 加藤 範久（広島大学大学院統合生命科学研究科）

連絡先：TEL：082-426-0774 / E-mail：nkato@hiroshima-u.ac.jp

本大会から発酵食品に関する研究集会を開催する。特に近年注目されている日本の発酵食品の機能性について重点的に取り上げる。若手研究者や企業研究者、関連分野の研究者の発表の機会も設け、様々な分野の研究者と情報交換を行う。

演者：今回は、以下の3名の講演者が話題を提供し、今後の方向性を議論する。

(1) 「発酵性の漢方用薬「神麴」の複雑性と可能性」

奥津 果優
鹿児島大学 助教

(2) 「多目的コホート研究における大豆発酵食品と健康との関連」

澤田 典絵
国立がんセンター 博士

(3) 「味噌のLPS 中和タンパク質の発見」

金内 誠
宮城大学 教授

5. 第12回 カルノシン・アンセリン研究会

会場：武庫川女子大学中央キャンパス L会場 (S-37)
6月11日(土) 18:00～20:00

代表者：西村 敏英（女子栄養大学：世話人代表）

江草 愛（日本獣医生命科学大学：事務局）

連絡先：東京都武蔵野市境南町 1-7-1

TEL：042-231-4151 / E-mail：a-egusa@nvlu.ac.jp

本研究会は機能性ペプチド「カルノシン・アンセリン」に関する研究発表および研究講演を行っております。今年度は大学、医薬品原料メーカー、食品企業等で活躍する方々が登壇し、カルノシン・アンセリンの魅力や今後の研究の展開についてご紹介いただく予定になっております。抗酸化や抗疲労、認知機能改善などの作用を有する「カルノシン・アンセリン」について、ご興味のある皆様のご参加をお待ちしております。

*入場無料、事前登録は不要です。